

平成31年1月7日

3学期始業式

皆さん、明けましておめでとうございます。大きな事故の報告もなく冬休みも無事に終了し、ほっとしています。

皆さんは、どんな冬休みを過ごしましたか？

3年生はいよいよ受験が始まる中学生生活最後の学期となりますね。

道に迷った2人の勇敢な男の話をしてします。ヨーロッパに、2人の大変勇敢な男の人がいました。2人は森の中で道に迷ってしまいました。昔のヨーロッパでは、夜の森には、悪魔が住んでいるという言い伝えがありましたが、勇敢な2人の男は、そんなことにはビビることなく、出口を見つけて動き始めました。1人の男は、出口を目指して黙々と歩き始めました。しかし何日歩いても出口は見つからず、さまようばかりで、たどり着いたのは道に迷った最初の場所だったそうです。

もう1人の男は、じっくり考えていたと思うと、空を見上げ、目標の星を見つけました。そして、その星を頼りに方角を見定め、歩き始め、しばらくして、森から抜け出したそうです。

冬休み前、先生は、みんなに目標を立て、1年の締めくくりをしましょうという話をしたと思います。今日のお話のように、同じ条件の中でも、目標があるのとないのでは、大きく違ってきます。「自分はこんな仕事に就きたい」「こんなことができるようになりたい」「こんな生き方がしたい」など、是非「自分を照らしてくれる星、道しるべとなる星」を見つけて、それに向かって進んでほしいと思います。

私の目標は、「時」です。時間を守るだけでなく、その時、その瞬間を大切にしたいと思っています。

皆さんも、目標に向かって、いい3学期になるように頑張ってください